



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東  
コード番号 7030 URL https://sprix.inc  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 利英 TEL 03(6912)7058  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 2024年6月3日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	16,057	5.5	990	44.7	1,017	47.8	591	54.7
2023年9月期第2四半期	15,221	1.8	684	△53.8	688	△53.8	381	△58.6

（注）包括利益 2024年9月期第2四半期 589百万円（55.8%） 2023年9月期第2四半期 378百万円（△58.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	33.92	33.53
2023年9月期第2四半期	22.11	21.68

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	20,698	9,984	48.0
2023年9月期	20,143	9,706	48.0

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 9,939百万円 2023年9月期 9,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年9月期	—	19.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,050	5.6	1,050	△20.4	1,050	△20.4	450	△19.9	26.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社イングリッシュスクエア、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	17,776,050株	2023年9月期	17,633,250株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	337,085株	2023年9月期	341,085株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	17,423,499株	2023年9月期2Q	17,271,492株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れリスクに加え、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注視する必要があります。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,057百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は990百万円（前年同期比44.7%増）、経常利益は1,017百万円（前年同期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は591百万円（前年同期比54.7%増）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は1,596百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

## 「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第2四半期連結会計期間末において221教室（前年同期比19教室増）展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当第2四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は40,389人と、前年同期比1,323人増となりました。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注1）	7,853百万円	8,331百万円	6.1%増
セグメント利益（注1、2）	1,604百万円	2,236百万円	39.4%増
EBITDA（注3）	1,711百万円	2,304百万円	34.6%増
教室数	202教室	221教室	19教室増
生徒数	39,066人	40,389人	1,323人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、のれんを除く無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

## 「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第2四半期連結会計期間末において200教室（前年同期比16教室増）を展開しております。2024年春の合格実績は前年に引き続き回復し、小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化により、主要コースである総合進学コースの前年同期比での在籍生徒数の減少幅は小さくなっているものの、当第2四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,466人（前年同期比345人減）となりました。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	4,487百万円	4,678百万円	4.3%増
セグメント利益	467百万円	552百万円	18.1%増
EBITDA	638百万円	774百万円	21.3%増
教室数	184教室	200教室	16教室増
生徒数	18,811人	18,466人	345人減

## 「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第2四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして51教室（前年同期比2教室増）を展開しております。足元では高校2年生以下の生徒数が改善し前年同期を上回るものの、高校3年生の生徒数減少の影響が残り、当第2四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は5,963人（前年同期比107人減）となりました。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	1,282百万円	1,232百万円	3.9%減
セグメント損失（△）	△49百万円	△114百万円	－
EBITDA	34百万円	△2百万円	－
教室数	49教室	51教室	2教室増
生徒数	6,070人	5,963人	107人減

## 「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第2四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比1教室増）、FC204教室（前年同期比12教室増）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレスタシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「SPRIX LEARNING」「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。さらに、投資フェーズではありますが、国際基礎学力検定「TOFAS」の受験者数は累計500万人となり、順調に推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、20,698百万円（前連結会計年度末比554百万円増）となりました。主な要因は、投資有価証券が240百万円、売掛金が232百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、10,714百万円（前連結会計年度末比276百万円増）となりました。主な要因は、未払金が739百万円、未払法人税等が408百万円増加したものの、前受金が906百万円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、9,984百万円（前連結会計年度末比277百万円増）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより328百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益591百万円により増加したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、6,128百万円（前連結会計年度末比121百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、1,765百万円（前年同期は得られた資金790百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,002百万円、未払金の増加額892百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,326百万円（前年同期は使用した資金512百万円）となりました。これは主に、有形および無形固定資産の取得による支出1,007百万円、投資有価証券の取得による支出221百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、317百万円（前年同期は使用した資金494百万円）となりました。これは主に、短期借入れによる収入418百万円があったものの、配当金の支払額328百万円、短期借入金の返済による支出328百万円があったことなどによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月10日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,007	6,128
売掛金	381	614
商品及び製品	297	434
仕掛品	45	12
貯蔵品	24	24
未収入金	2,430	1,912
その他	757	855
貸倒引当金	△37	△49
流動資産合計	9,906	9,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,268	3,366
土地	450	517
その他(純額)	108	383
有形固定資産合計	3,828	4,267
無形固定資産		
のれん	2,496	2,339
ソフトウェア	207	206
その他	927	776
無形固定資産合計	3,631	3,322
投資その他の資産		
投資有価証券	20	260
繰延税金資産	605	714
敷金及び保証金	2,044	2,096
その他	107	103
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,777	3,176
固定資産合計	10,237	10,765
資産合計	20,143	20,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103	323
未払金	1,543	2,282
短期借入金	754	668
1年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	171	580
未払消費税等	200	334
前受金	4,264	3,358
賞与引当金	441	410
その他	700	551
流動負債合計	8,543	8,872
固定負債		
長期借入金	727	634
役員退職慰労引当金	73	74
退職給付に係る負債	124	127
資産除去債務	968	1,006
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	1,893	1,841
負債合計	10,437	10,714
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,438	1,444
資本剰余金	1,428	1,434
利益剰余金	7,173	7,436
自己株式	△380	△377
株主資本合計	9,659	9,938
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2	1
その他の包括利益累計額合計	2	1
新株予約権	44	44
純資産合計	9,706	9,984
負債純資産合計	20,143	20,698

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,221	16,057
売上原価	10,137	10,813
売上総利益	5,084	5,244
販売費及び一般管理費	4,399	4,254
営業利益	684	990
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	—	18
業務受託料	0	1
助成金収入	1	0
受取手数料	2	—
その他	2	12
営業外収益合計	7	34
営業外費用		
支払利息	2	3
支払手数料	—	0
その他	1	4
営業外費用合計	3	7
経常利益	688	1,017
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
減損損失	—	17
特別損失合計	—	17
税金等調整前四半期純利益	688	1,002
法人税、住民税及び事業税	369	519
法人税等調整額	△62	△108
法人税等合計	306	411
四半期純利益	381	591
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	381	591

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	381	591
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	△2	△1
四半期包括利益	378	589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378	589
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	688	1,002
減価償却費	409	387
のれん償却額	160	204
株式報酬費用	10	4
減損損失	—	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	0
受取利息	△0	△0
支払利息	2	3
新株予約権戻入益	—	△2
持分法による投資損益 (△は益)	—	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	△116	284
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△111	△104
その他の資産の増減額 (△は増加)	△36	△91
仕入債務の増減額 (△は減少)	57	219
未払金の増減額 (△は減少)	911	892
前受金の増減額 (△は減少)	△746	△906
その他の負債の増減額 (△は減少)	200	△218
未払消費税等の増減額 (△は減少)	82	132
その他	△157	90
小計	1,334	1,880
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△541	△111
営業活動によるキャッシュ・フロー	790	1,765
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△221
有形固定資産の取得による支出	△48	△952
無形固定資産の取得による支出	△55	△124
敷金及び保証金の差入による支出	△413	△163
敷金及び保証金の回収による収入	4	101
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	34
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	△1,326
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	418
短期借入金の返済による支出	—	△328
長期借入金の返済による支出	△181	△92
株式の発行による収入	13	13
配当金の支払額	△326	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△494	△317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216	121
現金及び現金同等物の期首残高	5,935	6,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,719	6,128

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	7,853	4,487	1,282	13,623	1,598	15,221	—	15,221
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	7,853	4,487	1,282	13,623	1,598	15,221	—	15,221
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	87	87	△87	—
計	7,853	4,487	1,282	13,623	1,686	15,309	△87	15,221
セグメント利益 又は損失(△)	1,604	467	△49	2,023	△223	1,800	△1,115	684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,115百万円には、のれんの償却額△152百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△963百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	8,331	4,678	1,232	14,242	1,815	16,057	—	16,057
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	8,331	4,678	1,232	14,242	1,815	16,057	—	16,057
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	0	0	△0	—
計	8,331	4,678	1,232	14,242	1,815	16,058	△0	16,057
セグメント利益 又は損失(△)	2,236	552	△114	2,674	△537	2,136	△1,146	990

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業(研究開発費等を含む)」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス(フォレストシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,146百万円には、のれんの償却額△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。